



倉敷市上空

間隔の測線にせばめて更に精査する必要もおこるであろう。地上の放射能分布を空中から探査するのであるからなるべく低空・低速度の飛行が必要となり、比較的小型の飛行機が主に用いられている。また限られた区域を精査する場合にはヘリコプターによる探査も有効である。

§ 地質調査所が岡山県を中心として実施した空中放射能探査は双発デハピラント・ダブ機（搭載量 500 kg）を用い、科学研究所が試作したシンチレーション・カウンター（1.5 inch crystal 重量 100kg）によつて行つた。今回の飛行は今後の空中探査技術確立のための試験飛行であつたが、岡山県内に放射能分布の異常地帯を認めた。

放射能鉱物を含む

福島県石川町猫啼^{ねこなき}のペグマタイト鉱床

阿武隈山地にはきわめて多数のペグマタイト（巨晶花崗岩）鉱床が存在し、これがわが国における長石および良質けい石の主要な産地となつている。

猫啼のペグマタイト鉱床はその代表的なものの一つで露頭の走向延長約 170 m、最大の厚さ数 m、山側（北北西）へ 25°~45° 傾斜して花崗閃緑岩中に胚胎する不

飛行高度・速度による測定値に対する影響等を調べたが、対地高度 100m 内外、時速 180~200km 程度にて目的を達し得ることが明らかとなつた。今後空中探査を行う場合には、5 万分の 1 地形図全区域を約 3~4 時間の飛行にて概査し得ることが可能であろう。

§ 放射能鉱物資源の組織的探査のまず第一歩は、空中放射能探査技術の確立である。このためには充分整備された探査用飛行機の確保、熟練した操縦士による完全な飛行（このためには気流の安定した早朝の飛行が望ましく、特に山岳地帯においてはその必要があろう）、調査に必要なレーダー式高度計その他航空機用計器など充分機械化された設備の整備が必要となる一方、各種の地質鉱床に対する基礎的調査研究がその裏付けとなるであろう。これらのもとに初めて組織的且つ能率的な探査事業の遂行が期待されるものである。

§ なお空中から飛行機による概略的な探査を行つた後は、異常地区に対して更に詳しくその地区を把握するためジープにシンチレーション・カウンターを積み込んで放射能を測定する方法が行われる。（物理探査部）

規則な脈状鉱床である。この鉱床からは、従来良好な長石を産しているが、その他鉄雲母の巨晶と密接に伴つて、サマルスキー石（Samarskite）・フェルグソン石（Fergusonite）・モナズ石（Monazite）・ジルコン（Zircon）・燐灰ウラン鉱（Autunite）・銅ウラン鉱（Torbernite）等のウラニウムを含む諸鉱物もまた散見される。

地質調査所では、昨年来この鉱床およびその周辺について総合調査を実施中である。（鉱床部）

福島県石川町猫啼のペグマタイト鉱床

